



# 下水道部 成果報告

下水道部長 増 永 孝 三

## 部局達成度

			
-	11	-	-

## 総 括

公共用水域の水質を保全するため、汚水処理の未普及地区解消に向けて公共下水道の計画的な整備と浄化槽の設置促進に取り組み、汚水処理施設の普及拡大を図りました。

一方、浸水常襲地区においては、雨水対策基本計画に基づくハード整備とソフト対策に取り組むとともに、下水管路やポンプ場、処理場等、下水道施設の長寿命化と耐震化、並びに、適正な維持管理を行い、都市型浸水被害の軽減と災害に強い社会基盤施設の整備に取り組みました。

また、本年も民間事業者と協力して下水道 BCP 訓練を実施することで、災害時の対応力強化に取り組みました。

更に、将来にわたって安定的かつ持続的に下水道サービスを提供するため、経営戦略のフォローアップによる検証と評価を行い、公表いたしました。

今後も適正な工事の執行と施工及び品質の管理に努めながら、計画的に下水道施設の整備や改築更新を行い、経営戦略に基づいた下水道事業の健全経営に取り組みます。

## 組織目標ごとの達成状況

- 公共用水域の水質を保全するため、公共下水道の整備や、浄化槽の設置促進などの事業を計画的に進め、汚水処理施設の普及拡大を図ります

公共下水道については、中藤島、円山、東藤島、社南、麻生津、六条、東郷、一乗地区、森田北東部土地区画整理事業施行区域等において、約 21.6 kmの汚水管を整備しました。

また、浄化槽区域における合併処理浄化槽の設置促進にも取り組みました。

その結果、目標の人口普及率を達成することができました。引き続き、効率的な事業の推進やコスト縮減等に努め、汚水処理施設の計画的な普及拡大に取り組みます。

安全で快適な生活環境を支えるため、下水道施設の適切な維持管理に努めるとともに、雨水対策事業や、施設の改築更新、長寿命化、耐震化を計画的に進めます。また、災害時における対応力の強化に努めます

雨水対策事業については、足羽地区における明里バイパス幹線工事が 8 月末までに完成し、これまでの整備済みバイパス管と併せて、2400 m<sup>3</sup>の雨水貯留能力を確保できたことにより、浸水被害の軽減に一定の効果を得ることができました。

また、雨水対策のソフト事業については、ホームページや市政広報、公民館祭りなどのイベントにおいて周知を図り、浸水防除施設の普及促進に努めました。

下水道管の長寿命化及び耐震化については、計画どおり目標を達成することができ、加茂河原ポンプ場も本年度より工事を着工することができました。

繰り越した工事については、確実な工程管理によって早期完成に努めるとともに、来年度においても、工程の見直しが可能か検討します。

ストックマネジメント計画の策定については、管路、施設ともに目標とした作業工程を完了することができました。

福井市下水道業務継続計画に基づき実施してきた職員防災訓練については、今回災害協定を締結した日本下水道管路管理業協会との合同訓練とすることで、初動対応の確認をし、より実践的なものとなりました。

今後も、PDCA により内容を見なおしながら継続的に実施し、災害時の対応力強化に努めます。

一層の経営健全化を図るため、福井市下水道事業経営戦略の着実な進捗と下水道使用料の適正な徴収に取り組むとともに、下水道事業の普及・啓発のための見える化に努めます

経営戦略については、フォローアップにより事業進捗や経営状況を的確に把握するとともに、検証と評価を行うことで着実な推進に取り組みました。

また、今年度の過年度料金収納率も、目標を達成することができました。

下水道事業の見える化については、パネル展やPRイベントの開催、下水道施設の見学、下水道広報誌「下水のミカタ」等を通して、下水道事業の役割や重要性についての情報を発信しました。


さらに、「マンホールカード」の交付、「使用済みマンホール蓋の販売」も市外、県外の方に好評を博しました。

適切で合理的な公共事業推進のため、監督職員の施工体制点検を通して公共工事の品質確保に努めるとともに、各種研修会等を通して職員の技術力向上を図ります


工事観察パトロールを通じ、工事現場の施工体制、技術者の適正配置、下請等に関する各関連法規の遵守状況等の点検を行い、本年度は 1 件の指摘もありませんでした。


また、部内各所属が中心となり多様なテーマを設けて研修会を開催し、事務系、技術系を問わず、職員の技術力向上を図りました。


・公共用水域の水質を保全するため、公共下水道の整備や、浄化槽の設置促進などの事業を計画的に進め、汚水処理施設の普及拡大を図ります

1	未普及地区における汚水処理施設の整備	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	投資と財源との均衡を図りながら計画的に汚水処理施設の普及拡大を進めます。		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○公共下水道普及拡大工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度繰越工事 : 19件中 19件完成</li> <li>・令和元年度発注工事 : 101件発注、86件完成</li> </ul> <p>○主な整備地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単独公共下水道 <ul style="list-style-type: none"> <li>[橋北] 中藤島地区(新田本町、中藤新保町)、円山地区(北今泉町、東今泉町、下中町) 東藤島地区(上中町、大和田町、藤島町、林町、北野下町、堂島町)</li> <li>[橋南] 社南地区(南江守町、南居町)、文殊地区(上細江町) 麻生津地区(今市町、浅水町、森行町、末広町、主計中町、三本木町) 六条地区(上六条町、下六条町、上筋生田町、下筋生田町) 東郷地区(下東郷町、栃泉町、南山町、深見町) 一乗地区(城戸ノ内町)</li> </ul> </li> <li>・流域関連公共下水道 森田北東部土地区画整理事業施行区域(上野本町1丁目、河合寄安町、栗森2丁目、東森田2丁目、3丁目)</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
公共下水道区域内の人口普及率 : 95.8% (平成30年度) 96.3% (令和元年度)		公共下水道区域内の人口普及率 : 96.3% (見込み)	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	公共下水道については、中藤島、円山、東藤島、社南、麻生津、六条、東郷、一乗地区、森田北東部土地区画整理事業施行区域等を整備したことにより、目標を達成することができました。引き続き、効率的な事業の推進やコスト縮減等に努め、計画的な普及拡大に取り組みます。		


安全で快適な生活環境を支えるため、下水道施設の適切な維持管理に努めるとともに、雨水対策事業や、施設の改築更新、長寿命化、耐震化を計画的に進めます。また、災害時における対応力の強化に努めます

2	浸水常襲地区の雨水対策事業推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>浸水常襲地区の被害軽減を図るため、福井市下水道雨水対策基本計画に基づき、バイパス管などの整備とともに浸水防除施設の普及促進を図ります。</p> <p>また、下水道革新的技術実証事業で整備した降雨・浸水予測システムについては、実際の降雨状況と予測結果を比較しながら予測精度の向上に取り組みます。</p>		
	取 組 内 容	<p>ハード対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明里バイパス管の整備 1650 明里バイパス幹線工事（H30 繰越工事） [完 成]</li> </ul> <p>ソフト対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水防除施設のイベントでのPR 6回 4月14日 明里バイパス管布設工事現地見学会（明里町） 7月28日 上下水道展（ハピテラス） 8月25日 福井市防災フェア（ハピテラス） 10月20日 足羽公民館まつり、湊公民館まつり 10月27日 豊公民館まつり</li> </ul> <p>降雨・浸水予測システムの精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市域レーダーシステム、短時間降雨予測モデル及び高速流出解析システムの観測データの蓄積と評価検証を実施</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>下水道による都市浸水対策達成率 ： 84.2%</p> <p>明里バイパス管等の整備率 ： 75.2%（平成30年度） 100.0%（令和元年度）</p> <p>浸水防除施設のイベントでのPR ： 6回</p>		<p>下水道による都市浸水対策達成率 ： 84.2%</p> <p>明里バイパス管等の整備率 ： 100.0%</p> <p>浸水防除施設のイベントでのPR ： 6回</p>	
成 果 課 題	<p>ハード対策事業については、足羽地区における 1650 明里バイパス管布設工事（明里2丁目地係）が8月末に完成しました。これまでの整備済みバイパス管（貯留量約1,400 m<sup>3</sup>）と併せて、約2,400 m<sup>3</sup>の暫定貯留管として運用を開始し、浸水被害の軽減に一定の効果を得ることができました。</p> <p>ソフト対策事業については、平成29年度から運用を開始した雨水貯留タンク及び止水板の設置にかかる補助制度について、ホームページや市政広報、イベントなどにおいて周知を図りました。引き続き、浸水常襲地区の公民館まつりなどにおいて補助制度のPR活動に取り組みます。</p>		
	<p>降雨・浸水予測システムの精度向上の検証については、引き続き、実際の降雨と浸水の予測についての評価検証を行いシステムの更なる精度向上に取り組みます。</p>		

3	処理場・ポンプ場の更新整備	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>雨水対策の強化や施設の耐震化を図るため、老朽化したポンプ場の更新整備を行います。  また、羽生浄化センターは、美山地区の下水道整備を早期に進めるために暫定整備した処理場であり、処分制限期間が満了する令和 3 年度末までに、終末処理場である美山浄化センターに集約します。</p>		
取 組 内 容	<p>加茂河原ポンプ場更新整備  ・土木工事の発注 (8月)  ・土木工事の施工 (~令和3年10月)</p> <p>足羽ポンプ場更新整備  ・都市計画素案の作成 (8月)  ・地元懇談会の開催 (9月)  ・公聴会の開催 (12月)  ・都市計画変更の決定 (3月)</p> <p>美山浄化センター増設整備  ・詳細設計業務委託の発注 (5月)  ・詳細設計業務委託の完了 (12月)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
加茂河原ポンプ場更新土木工事の着工：8月 足羽ポンプ場更新事業の基本方針の決定：3月 美山浄化センター増設詳細設計業務委託の完了 ：1月		加茂河原ポンプ場更新土木工事の着工：8月 足羽ポンプ場更新事業の基本方針の決定：3月 美山浄化センター増設詳細設計業務委託の完了 ：12月	
成 果 ・ 課 題	<p>加茂河原ポンプ場更新土木工事は、目標どおり8月に着工しました。適切な工程管理、安全管理に努め、令和3年度完成を目指します。</p> <p>足羽ポンプ場の更新については、3月に都市計画の変更が完了しました。今後は事業化に向け速やかに事業認可の手続きを行っていきます。</p> <p>美山浄化センター増設詳細設計業務委託は、目標より早く12月に完了しました。来年度は、土木工事の早期発注を目指します。</p>		


4	下水道施設長寿命化への取組	達成度		
<b>実 行 内 容</b>				
目 標	下水道の機能を保全するため、改築更新及び調査・診断を計画的に行い、下水道施設全体の長寿命化に取り組みます。			
	また、下水道施設全体の状態を把握しながら、適切な維持管理や効率的な改築更新を行うため、ストックマネジメント計画の策定に取り組みます。			
取 組 内 容	下水道管の長寿命化			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水管更生工事（順化2丁目外9件）</li> <li>・ 下水管改築更新工事（大宮3丁目外4件）</li> </ul>	延長 1.60km 延長 0.30km 計 1.90km	[完 成] [完 成]	
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TVカメラ調査、解析・診断</li> </ul>			延長 15.1km [完 成]
	下水道施設の長寿命化			
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日野川浄化センター ポンプ設備長寿命化工事</li> <li>・ 清水西部環境センター 電気計装設備更新工事</li> <li>・ 乾徳ポンプ場 ポンプ設備長寿命化工事</li> <li>沈砂池設備長寿命化工事</li> </ul>			[完 成] [完 成] [完 成] [完 成]
	ストックマネジメント計画の策定			
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理場・ポンプ場の点検・調査・計画（素案）の策定</li> <li>・ 管路施設と処理場・ポンプ場の点検・調査計画をとりまとめた計画の策定</li> </ul>			[完 成] [完 成]
	ストックマネジメント計画の策定			
<b>数 値 指 標</b>				
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>		
下水道管の長寿命化 下水道管更生・改築更新工事 : 橋北、町屋大願寺排水区等 延長 1.3 km TVカメラ調査、解析・診断 : 橋北、北部排水区 延長 15.0 km		下水道管の長寿命化 下水道管更生・改築更新工事 : 橋北、町屋大願寺排水区等 延長 1.9 km TVカメラ調査、解析・診断 : 橋北、北部排水区 延長 15.1 km		
下水道施設の長寿命化 日野川浄化センター : ポンプ設備 清水西部環境センター : 電気計装設備 乾徳ポンプ場 : ポンプ設備、沈砂池設備 スtockマネジメント計画の策定 処理場・ポンプ場施設 : 処理場・ポンプ場の点検・調査計画策定 9月 下水道ストックマネジメント計画 : 管路施設と処理場・ポンプ場の点検・調査計画をとりまとめた計画の策定 12月		下水道施設の長寿命化 日野川浄化センター : ポンプ設備 清水西部環境センター : 電気計装設備 乾徳ポンプ場 : ポンプ設備、沈砂池設備 スtockマネジメント計画の策定 処理場・ポンプ場施設 : 処理場・ポンプ場の点検・調査計画策定 9月 下水道ストックマネジメント計画 : 管路施設と処理場・ポンプ場の点検・調査計画をとりまとめた計画の策定 12月		
成 果 ・ 課 題	下水道管の長寿命化に係る更生・改築更新工事などについては、計画的に発注し目標を達成することができました。			
	下水道施設の長寿命化についても、目標どおり工事を完成できました。引き続き、ストックマネジメント計画に基づき下水道施設全体の長寿命化に取り組みます。			


5	下水道施設の耐震化への取組	達成度													
<b>実 行 内 容</b>															
目 標	地震時においても下水道の機能を確保するため、管路をはじめ処理場等の施設の耐震化を進めます。														
取組内容	<p>下水管路耐震化の取組状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">[ 完 成 ]</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及拡大工事 延長 21.57km</li> <li>・雨水対策工事 延長 0.57km</li> <li>・管路改築工事（管更生、更新） 延長 1.90km</li> </ul> </td> <td style="width: 10%; text-align: right;">} 22.14km</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">24.04km</td> </tr> <tr> <td>[ 繰 越 ]</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及拡大工事 延長 4.29km</li> <li>・管路改築工事（管更生、更新） 延長 0.37km</li> </ul> </td> <td></td> <td style="text-align: right;">計 4.66km</td> </tr> </table> <p>下水管路の耐震化率</p> $\frac{(H30 \text{ 年度末 耐震化延長}) + (R \text{ 元年度 耐震化延長})}{(H30 \text{ 年度末 管路延長}) + (R \text{ 元年度 増加延長})} = \frac{712.72 + 24.04}{1510.75 + 22.14}$ <p style="text-align: right;">48.1%</p> <p>境浄化センター簡易耐震診断委託業務 [ 完 了 ]</p>			[ 完 成 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及拡大工事 延長 21.57km</li> <li>・雨水対策工事 延長 0.57km</li> <li>・管路改築工事（管更生、更新） 延長 1.90km</li> </ul>	} 22.14km				計	24.04km	[ 繰 越 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及拡大工事 延長 4.29km</li> <li>・管路改築工事（管更生、更新） 延長 0.37km</li> </ul>		計 4.66km
[ 完 成 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及拡大工事 延長 21.57km</li> <li>・雨水対策工事 延長 0.57km</li> <li>・管路改築工事（管更生、更新） 延長 1.90km</li> </ul>	} 22.14km													
		計	24.04km												
[ 繰 越 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及拡大工事 延長 4.29km</li> <li>・管路改築工事（管更生、更新） 延長 0.37km</li> </ul>		計 4.66km												
<b>数 値 指 標</b>															
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>													
下水管路の耐震化率：47.3%（平成30年度） 48.1%（令和元年度） 境浄化センターの簡易耐震診断委託の完了 ： 3月		下水管路の耐震化率 ： 48.1% 境浄化センターの簡易耐震診断委託の完了 ： 2月													
成果・課題	<p>下水管路の耐震化に係る工事については、計画的に発注し目標を達成することができました。引き続き、ストックマネジメント計画に基づき耐震化に取り組めます。</p> <p>境浄化センターの簡易耐震診断は、目標より早く2月に委託業務が完了しました。来年度は、清水東部環境センター及び清水西部環境センターの簡易耐震診断を行い、下水道施設の耐震化に取り組めます。</p>														


6	災害対応訓練の実施	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	平成 26 年度に策定した福井市下水道業務継続計画に基づき実施してきた職員防災訓練をより実践的なものとするため、民間事業者の協力のもと、合同訓練を実施します。		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>民間事業者との合同訓練</p> <p>日時：令和元年 10 月 30 日（水）13:00～14:30</p> <p>場所：日野川浄化センター</p> <p>内容： 情報伝達訓練 災害対応訓練（土嚢設置、管内清掃実演、管内調査）</p> <p>参加者：公益社団法人日本下水道管路管理業協会 2 社 ：下水道部職員 24 名</p> <p>○新たな組織体制による危機管理体制の見直し（3月）</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
民間事業者との合同防災訓練の実施 : 1 回		民間事業者との合同防災訓練の実施 : 1 回	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>今回の合同訓練は、平成 31 年 3 月に災害支援協定を締結した「公益社団法人 日本下水道管路管理業協会」と訓練を実施しました。</p> <p>訓練では、相互の情報伝達訓練や、災害時の初動対応であるポンプ車や吸引車、仮設ポンプなどの実演を行うことで、実践的な作業の確認することができ、災害時の円滑な対応に繋がるものとなりました。</p> <p>今後も、災害支援協定がより強固なものとなるよう、連携強化に繋がる実践的な訓練を実施していきます。</p>		
	<p>さらに、令和 2 年度から企業局との統合により、新たな組織体制となることから、両部局の課題を整理し危機管理体制の見直しを行いました。</p>		




- 一層の経営健全化を図るため、福井市下水道事業経営戦略の着実な進捗と下水道使用料の適正な徴収に取り組むとともに、下水道事業の普及・啓発のための見える化に努めます


7	下水道事業の安定経営	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>平成 28 年度に策定した福井市下水道事業経営戦略を着実に推進するため、下水道事業の経営状況を的確に把握するとともに、検証と評価を行い、必要な見直し等を図っていきます。</p> <p>また、より効率的な経営を行っていくため、企業局との組織統合に向けた協議を進めます。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>経営戦略のフォローアップの公表（9月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営指標の検証等による経営状況の把握</li> <li>・ 経営基盤強化策等の実施状況の検証</li> <li>・ 投資事業の進捗状況の確認</li> <li>・ 30 年度末評価のとりまとめ及び公表</li> </ul> <p>企業局との統合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係条例改正案の議決（12 月議会）</li> <li>・ 統合について協議</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>経費回収率</p> <p>： 99.8%（平成 30 年度）</p> <p>100.0%（令和元年度）</p> <p>経営戦略の平成 30 年度末評価のとりまとめ</p> <p>： 9 月</p>		<p>経費回収率</p> <p>： 120%（見込み）</p> <p>経営戦略の平成 30 年度末評価のとりまとめ</p> <p>： 9 月</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>フォローアップにおいて、有収率が低調であることや管渠老朽化率が高い水準にあることなどが課題として挙げられました。これらの課題解消のため、不明水対策や改築更新を計画的に進めていきます。</p> <p>なお、人口減少や節水志向の影響等により使用水量は減少傾向にありますが、使用料改定により使用料収益は前年度比約 23 ポイント増となり、令和元年度の経費回収率は 100%を大きく超えることができました。</p> <p>また、企業局とスムーズな統合に向け、事務事業の一元化や職場環境の整備に努めました。</p>		

8	下水道事業の見える化を推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	日頃は目にする機会が少ない下水道への関心を高め、その役割や重要性について広く理解してもらうため、PRイベントや施設見学を実施するとともに、広報誌やホームページ、フェイスブックなどによって、情報の発信を強化します。		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>PRイベントの実施及び施設等の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校等の見学者（4月～3月） 730人</li> <li>・スウェッジガーデン等利用者（4月～11月） 4,021人</li> <li>・福井市上下水道展（7/28：企業局共催）参加者 1,310人</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 6,061人</p> <p>情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「下水のミカタ」発刊（7月、11月、3月）</li> <li>・ホームページ、フェイスブックを随時更新</li> </ul> <p>【参考】</p> <p>マンホールカード配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェニックス柄 配布数 1,247枚（2月末） うち県外：1,018枚</li> <li>・一乗地区限定柄 配布数 2,927枚（2月末） うち県外：2,517枚</li> </ul> <p>マンホールワンコンテスト 11/29表彰式 応募者 34人 うち県外： 2人</p> <p>マンホール不用蓋販売（10枚限定） 応募者 118人 うち県外： 41人</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
PRイベント及び施設等の来場者数 ： 6,007人（平成30年度） 6,050人（令和元年度） 下水道広報誌の発刊 ： 3回		PRイベント及び施設等の来場者数 ： 6,061人 下水道広報誌の発刊 ： 3回	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	福井市上下水道展の開催、広報誌の発刊や、市内の小学校や公民館に対し施設見学の案内等を実施した結果、目標を達成することができました。 引き続き、施設見学、広報誌やイベントを通して、下水道事業の役割や重要性などの啓発に積極的に取り組みます。		

9	下水道使用料滞納金の徴収強化	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	下水道使用料については、水道料金と同時に徴収するシステムとなっているため、企業局等と連携を図りながら、過年度使用料収納率の維持・向上に取り組みます。		
<b>取 組 内 容</b>	<p>委託業者の統括責任者と当室の滞納整理担当者による協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過年度下水道使用料の数値目標の確認</li> <li>・ 滞納者の個人案件について情報共有</li> </ul> <p>(4月から2月の滞納整理実績)</p> <p>各戸訪問 1,966件 電話による交渉 4,991件</p> <p>過年度使用料収納率 (収納額) 19,644,278千円 / (調定額) 19,684,039千円 = 99.80%</p> <p>債権管理室と連携を図り債権管理室移管滞納者の進捗状況を把握</p> <p>企業局からの徴収報告を受け、委託業者の業務進捗状況の確認を行い、情報を共有しながら引き続き滞納整理を実施</p> <p>各戸訪問及び電話催告を実施 81件実施済み</p> <p>大口滞納者との直接交渉(8月、2月)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
過年度使用料収納率 : 99.7%以上		過年度使用料収納率 : 99.8%	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	目標収納率 99.7%を上回ることができました。令和2年度には企業局と統合するため、新たな徴収体制で、一層の収納率向上に努めます。		

・適切で合理的な公共事業推進のため、監督職員の施工体制点検を通して公共工事の品質確保に努めるとともに、各種研修会等を通して職員の技術力向上を図ります

10	公共工事の品質確保	達成度																	
<b>実 行 内 容</b>																			
<b>目 標</b>	適正な工事執行と品質確保を図るため、工事現場の施工体制、技術者の適正配置、下請負等に関する各関連法規の遵守状況を点検します。																		
<b>取 組 内 容</b>	<p>工事監察パトロール実施結果（全6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事監察指摘率 0.0%（指摘件数0件 / 監察件数36件）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="288 692 1353 1005"> <thead> <tr> <th>課 名</th> <th>是正指摘件数 (件) A</th> <th>監察を受けた件数 (件) B</th> <th>指摘率 (%) (A/B) × 100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水管路課 (雨水対策室)</td> <td>0</td> <td>24</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>下水施設課</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>36</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			課 名	是正指摘件数 (件) A	監察を受けた件数 (件) B	指摘率 (%) (A/B) × 100	下水管路課 (雨水対策室)	0	24	0	下水施設課	0	12	0	計	0	36	0
課 名	是正指摘件数 (件) A	監察を受けた件数 (件) B	指摘率 (%) (A/B) × 100																
下水管路課 (雨水対策室)	0	24	0																
下水施設課	0	12	0																
計	0	36	0																
<b>数 値 指 標</b>																			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>																	
工事監察指摘率 : 4.2% (平成30年度) 0.0% (令和元年度)		工事監察指摘率 : 0.0%																	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>監督職員や管理職による現場巡視や課内点検を実施し、施工体制の点検及び現場代理人への指導を徹底したことにより、目標を達成しました。</p> <p>引き続き、受注者への指導の徹底と、監督職員や管理職による現場巡視及び工事関係書に関する確認体制の強化に努め、より適正な工事執行と品質確保を図ります。</p>																		

11	職員の技術力向上	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	各種講習会へ積極的に参加を図るとともに、多岐に亘るテーマや、より実践的な内容の技術研修会を開催し、職員のスキルアップに取り組みます。		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>第1回技術研修会を開催（4月）          テーマ：浸水対策の強化と専門技術の継承について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ等を実際に稼働させるなどの機器の稼働操作を実技指導</li> <li>・河川樋門等の機能及び操作の要領を指導</li> <li>・再任用職員からの技術継承</li> </ul>	
<p>第2回技術研修会を開催（6月）          テーマ：お客様サービスの向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路布設、取付管・汚水柵設置工事、宅内排水設備等の基礎的な知識を講義</li> </ul>			
<p>第3回技術研修会を開催（9月）          テーマ：施設の維持管理（ストックマネジメント計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回点検業務・保守点検業務</li> </ul>			
<p>第4回技術研修会を開催（10月）          テーマ：不明水問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不明水問題の現状と課題についての説明</li> <li>・不明水が浸入してくる経路についての講義</li> <li>・不明水対策として、業者による支管取付工の施工実演</li> </ul>			
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
各種技術研修会の開催：4回		各種技術研修会の開催：4回	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>下水道部の各所属が中心となって4回の技術研修会を開催し、事務系・技術系の職種を問わず下水道部全職員のスキルアップに取り組みました。</p> <p>今後とも、適切な時期に適切なテーマの研修会を開催することで、職員の技術力向上を図ります。</p>		

